

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] Emergency Room における頭部 CT Angiography 撮影法の検討

[研究責任者] 診療放射線部 園田隼平

[研究の背景]

当院では脳出血診断のために Emergency Room にて頭部 CT Angiography (以下頭部 CTA) 撮影を行っています。頭部 CTA 撮影は出血源の精査および手術支援画像の作成に有用であることから、再現性良い撮影法が課題となっていました。そこで本研究では、当院で実際に行っている 2 つの異なる撮影法における CT 値を比較し、再現性良く画像を提供できる至適撮影法について検討します。なお、2 つの異なる撮影法については以下の通りです。

1. 造影剤注入時間を 12 秒間と固定、造影剤量は 48ml と固定し、注入速度 4ml/sec と固定で注入。Bolus Tracking 法^(※1)を用いて manual^(※2)で撮影を開始する方法
2. 造影剤注入時間を 12 秒間と固定、造影剤量は体表面積を用いて算出 (体表面積に応じて可変)、注入速度を 3ml/sec から 4.5ml/sec まで可変し注入。Bolus Tracking 法を用いて Auto^(※3)で撮影を開始する方法。

(※1) 指定したスライス断面で動脈への造影剤流入をリアルタイムに観察し、撮影を行う方法。

(※2) 動脈への造影剤到達を目視で確認し、撮影者自身でスキャンを開始する方法

(※3) 動脈への造影剤到達を機械的に Auto で感知し、自動的にスキャンが開始される方法

[研究の目的]

当院で実際に行われている頭部 CTA の 2 つの異なる撮影法の比較を行い、至適撮影法の決定を目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2022 年 1 月 1 日から 2023 年 6 月 30 日の間に長崎医療センターで脳出血の診断目的で頭部 CTA 検査を受けられた方

●研究期間：倫理審査委員会承認日から西暦 2024 年 3 月 31 日まで

●利用する検体、カルテ情報

カルテ情報：身長、体重

臨床画像より、中大脳動脈、上矢静脈洞、横静脈洞のCT値

●検体や情報の管理

カルテ情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

部署：診療放射線部 氏名：園田 隼平

電話番号：0957-52-3121（代表）